

# 探究チャレンジ・ジャパン

2024年2月1日(木)、北海道教育委員会主催の「探究チャレンジ・ジャパン」が北海道大学学術交流館で開催され、「社会との共創」推進プロジェクト 科学技術活用型(探究チャレンジ・ジャパン予選)で参加出場権を獲得した、SS 特講Ⅱの生徒が「サンドイッチ法及びプラントボックス法によるマリーゴールドのアレロパシー活性の評価」でポスター発表を行いました。

審査では、大学教員等から研究内容や研究の発展性、統計解析等についての質問が数多くあり、参加生徒は質問の一つ一つに対して、自信を持って解答していました。大学教員や他校の引率教員からも、「とてもレベルの高い研究」と称賛されました。

審査結果は、**最高賞である「北海道知事賞」を見事獲得し、鈴木直道知事から表彰されました。**

生徒からは「今まで研究活動してきたことを評価してもらい、嬉しく思うのと同時に、審査員から、内容の一部について指摘を受けたので、見直しを図るとともに、まだこの研究は完成ではないので、さらに発展させたい。また、研究活動に際しご指導いただいている、北海道大学大学院水産科学研究院の先生に報告したい」と抱負と感謝を語っていました。

## 【発表要旨】

本研究では、マリーゴールドの葉、茎、花弁の成分がレタスに対する成長阻害活性を持つかどうかについて、サンドイッチ法及びプラントボックス法により検定した。その結果、マリーゴールドの葉、茎、花弁にはレタスの幼根及び下胚軸に対して、有意な成長阻害性があることがわかった。

